

# 中学校 第2学年 英語科学習指導案

学習指導者 丸亀市立飯山中学校 廣田 由希子

## 1 単元名「Program4 Hi-Tech Nature -英語のしくみ-」(Sunshine English Course 2)

### 2 単元計画(総時数 9時間【本時9/9】)

- 2つのもの、もっとも程度が高いもの、同じ程度のものを説明できる。(3時間)
- 生物模倣(バイオミミクリー)について知る。(4時間)
- インタビュー活動に意欲的に取り組むことができる。(1時間)
- 身の回りの生き物について、意欲的に紹介する。(1時間)

### 3 授業の見どころ

英語の授業では、全体で発言するのが苦手な生徒でも、ペア活動や班活動では意欲的に取り組み、友だちに自分の考えを伝えることを楽しんでいる。生徒の知的好奇心を喚起し、主体的に考えられるよう、身の回りの生き物クイズを班で作るという課題を設定し、全ての生徒が学びに参加できるよう工夫している。また、ICT機器の録音機能を活用することで、よりよい発表を意識して生徒一人一人が主体的に練習に取り組める場を設け、最後には各自が学びを実感できる時間を設定している。

### 4 本時の学習指導

#### (1) 目標

比較級・最上級・同等比較を用いて、身の回りの生き物について説明することができる。また、友だちの発表を正しく聞き取り、プラス1で説明することができる。

#### (2) 学習指導過程

学習活動	生徒の予想される反応	教師の支援及び指導上の留意点
1 学習課題を確認する。 先生のクイズを聞く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海にいる生き物かな。</li> <li>・～より大きい生き物らしい。</li> <li>・Clear voice、Speed、間が大事だったな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒活動のイメージをつかむため、まず教師が発表例を示す。</li> <li>○相手を意識した発表となる、大切なポイントを確認する。</li> </ul>
<b>身の回りの生き物(昆虫・動物)の秘密を知ろう!</b>		
<b>指導の重点項目</b>		
2 クイズを作る。 (1)班ごとに情報カードを見て、クイズを作成する。 (2)タブレットに録音する。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ICT</span>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これは最上級を使って表現したらいいな。</li> <li>・can も使えそうだ。</li> <li>・友達が聞き取りやすいようによりよい発表を意識して練習や録音をしよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の英文と新文法事項を比較しながら習得させるため、情報カードを工夫して作成する。</li> <li>・生徒が自信をもって発表できるよう十分な班活動の場を設定する。</li> </ul>
(3)個人でクイズに答える。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ICT</span> (4)プラス1英文を書かせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・er、est、as など比較表現をしっかり聞き取ろう。</li> <li>・自分だったら比較級を使って表現したいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスニングの苦手な生徒も意欲的に取り組みよう、何度も聞き返す時間を十分に確保する。</li> <li>・自分の言葉で表現する楽しさを味わわせるため、プラス1英文を書く時間を設定する。</li> </ul>
3 本時の学習の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最上級や比較級の違いが分かってきた。</li> <li>・前回より上手く発表できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の授業で「分かったこと」「できたこと」「次回への課題」を振り返るように促す。</li> </ul>